



## 蔵書点検（臨時休館）の おしらせ

一年に一回の蔵書点検を行うため、以下の期間は臨時休館いたします。

【西諫早】 3/3（水）～3/5（金）



## 本を「巣ごもり」のお供に

感染症の影響もあり、「巣ごもり」の日々が続いています。お出かけの際は、ぜひ図書館に立ち寄り、「巣ごもり」のお供をする本を選んでみませんか？



## 図書館カレンダー（2月）

日	月	火	水	木	金	土
♡	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	♡	♡	♡	♡	♡	♡

20冊・3週間 借りられます



## 今月の展示

### # 小説

文藝春秋  
芥川賞・直木賞



### # 実用書

冬のあみもの  
通園・通学グッズ  
安野光雅の世界



## 館員おすすめの一冊

『本当はごはんをつくるのが好きなのに、しんどくなった人たちへ』  
コウケンテツ／著（ぴあ）

このタイトルのように、料理は嫌いじゃないけど、毎日の料理となると面倒って皆さんも思いませんか？この本の著者は、旬の素材を生かし手軽でおいしい家庭料理を提案して、テレビやYouTubeで活躍中のコウケンテツさんです。3児の父親として育児をし、親子の食育や男性の家事、食を通してのコミュニケーションを広げる活動にも力を入れています。

ある講演会場で、ひとりの女性から「もう料理をすることに限界がきました。毎日、ほんとうにつらいんです。」と告白されます。著者は、これまでの活動を改めて、「料理を作る人が救われる、気持ちがあすと楽になる」そんな活動をしたと思うようになったそうです。

私がこの本で印象に残った所は、“恐怖！子どもに「いっしょに、おりょうりしたいー」と言われたら”の項です。なるほどと参考になるポイントが満載です。子どもに「楽しい成功体験」をさせ、名シェフを育てることをすすめています。「おうちごはんを作る人」の気持ちに寄り添った著者初のエッセイ本です。（S）



## 新刊紹介



この他にもたくさんあります！  
貸出中の本には予約ができます

『Excel データ分析の「引き出し」が増える本』	木村 幸子	翔泳社
『古代史の基礎知識』	吉村 武彦	KADOKAWA
『世界の美しいお城と宮殿』		ワン・パブリッシング
『地上に星座をつくる』	石川 直樹	新潮社
『墓マイラー・カジポンの世界音楽家巡礼記』	カジポン・マルコ・幾月	音楽之友社
『始まりから知ると面白い物理学の授業』	左巻 健男	山と溪谷社
『電柱鳥類学』	三上 修	岩波書店
『「色のふしぎ」と不思議な社会』	川端 裕人	筑摩書房
『新型コロナ自宅療養完全マニュアル』	岡田 晴恵	実業之日本社
『魔法のパンケーキ』	藤沢 せりか	マイナビ出版
『人生起き上がりこぼし』	✎ エッセイ	海老名 香葉子 海竜社
『約束の猫』	✎ 短編集	村山 早紀 立東舎



## 西館日和

先月は数年ぶりに雪が積もりました。諫早は温暖な地のため雪に慣れておらず、バスや電車は動くだろうか、仕事には行けるかな、買い物はどうしようかと気をもまれた方もいらっしゃるかもしれません。子どものころ、指がかじかむのも忘れて遊んだ雪の日の思い出も遠い昔、大人になるといろいろな都合が邪魔をしてしまいます。今度の雪で庭先にいくつ雪だるまができたのでしょうか…

二十四節気の大寒も過ぎ、今年の節分は2月2日、翌日の3日は春分です。ときに寒さも弱まり外の暖かな陽ざしに春を感じます。とは言っても今は外出を控え、自宅で過ごす時間が多いことと思います。このように長い期間、行動の制限がされ、人と接する機会が減ると話す機会も減り、これが気力の衰えにつながっていく心配があります。さらに、体を動かすことが少なくなり、心や体の機能低下につながっていくそうです。

適度に体を動かし歩くことがいいそうですので、ぜひ散歩のコースに図書館をいれて、時々立ち寄ってみませんか。もし、身近に図書館を利用したことのないお知り合いの方がいたら「図書館に行ってみんね！」とお誘いください。きっと本との新しい出会いが待っています。

館長 池田